

# 月刊 女性潮流研究所

読むだけでトレンド分析力がアップする！  
女性関連ビジネス担当者のためのお仕事サポート情報誌

2018年10月25日発行  
Vol.156

## イマドキ女性図鑑No.155 「ブランド盛り女子」



今月のPick Up Magazine ~雑誌数88誌/見出し数1,631本~ \*初出誌

ar/up plus/姉ageha/anandGIRL/&Premium/&ROSY/InRed/25ans/ViVi/with/  
VERY/VOGUE JAPAN/VoCE/eclat/ESSE/ELLE japon/OWN/oz magazine/Oggi/  
ku:nel/大人のおしゃれ手帖/オトナMUSE/家庭画報/からだにいいこと/kiitos./CanCam/  
GINZA/Kurashi/CLASSY./GLITTER/CLUEL/CREA/GLOW/クロワッサン/サンキュ！/  
CR FASHION BOOK\*/JJ/JELLY/GISELE/SPUR/GINGER/Sweet/steady./STORY/  
SPRING/CHANTO/天然生活/Domani/nicethings/NYLON JAPAN/ナチュリラ/日経WOMAN/  
日経Health/nina's/Numero TOKYO/non-no/HERS/Harper's BAZAAR/BAILA/Hanako/  
美人百花/美ST/美的/美Premium/FUDGE/FIGARO japon/婦人画報/婦人公論/FRaU/  
PRESIDENT WOMAN/Precious/Mart/MAQUIA/mamagirl/Marisol/ミセス/mina/  
mini/mer/MORE/LOVEgg/LaLaBegin/LEE/Richesse/Liliou/リンネル/Ray

## 2018年10月のトレンド分析カチェック問題

このレポートを読めば答えはわかります。  
答えはいちばん最後に。

Q1:コートには2つの市場があります。それは何？

ヒント:「〇〇的に着るコート」と、「〇〇的に着るコート」と二つの市場

Q2:「映え疲れ」のいま、どんな言葉にぐっとくる？

ヒント:「映える」「いいね」より「〇〇〇いい」が今の気分

Q3:最近の女子のキャラはどうなっている？

ヒント:〇〇〇や〇〇〇〇〇で、同じ女の子がいくつものキャラが持てる。

Q4:これから増えそうな「美人」はどんな美人？

ヒント:〇〇無しのちょっと欠点が見える〇〇〇美人

Q5:今の45歳や50歳がなりたいのは「美魔女」ではありません。では、どうなりたいのでしょうか？

ヒント

若いよりも、〇〇〇な人と言われたい

おばちゃんよりも、〇〇と言われたい

Q6:サボったり、ズボラだったりすることの「便利」の以外ベネフィットとは？

ヒント:便利だけでなく〇〇になる

**<かゆいところに手が届く 特別企画>**  
 2016～2018年 女性誌創刊／休刊／リニューアルまとめ  
 (2018.10更新)

## 2016年

創刊	MERY / LaLaBegin
休刊	AneCan / SEDA / L'OFFICIEL Japon / GOLD / ROLa / SAKURA / VOGUE girl / ELLE girl / MERY
発行形態変更・リニューアル	Ranzuki…ネット移行 ku:nel…リニユーアル

## 2017年

創刊	&ROSY / bis / OWN / my goodies / YOLO style / ihana
休刊	Zipper / bea's up / oz plus / Como
発行形態変更・リニューアル	小悪魔ageha…出版元倒産・ライセンス移譲等を経て2誌に分裂 KERA…紙媒体休刊 Soup…紙媒体休刊→ネット移行→Soup.Plus発行→Soup.再創刊→休刊?

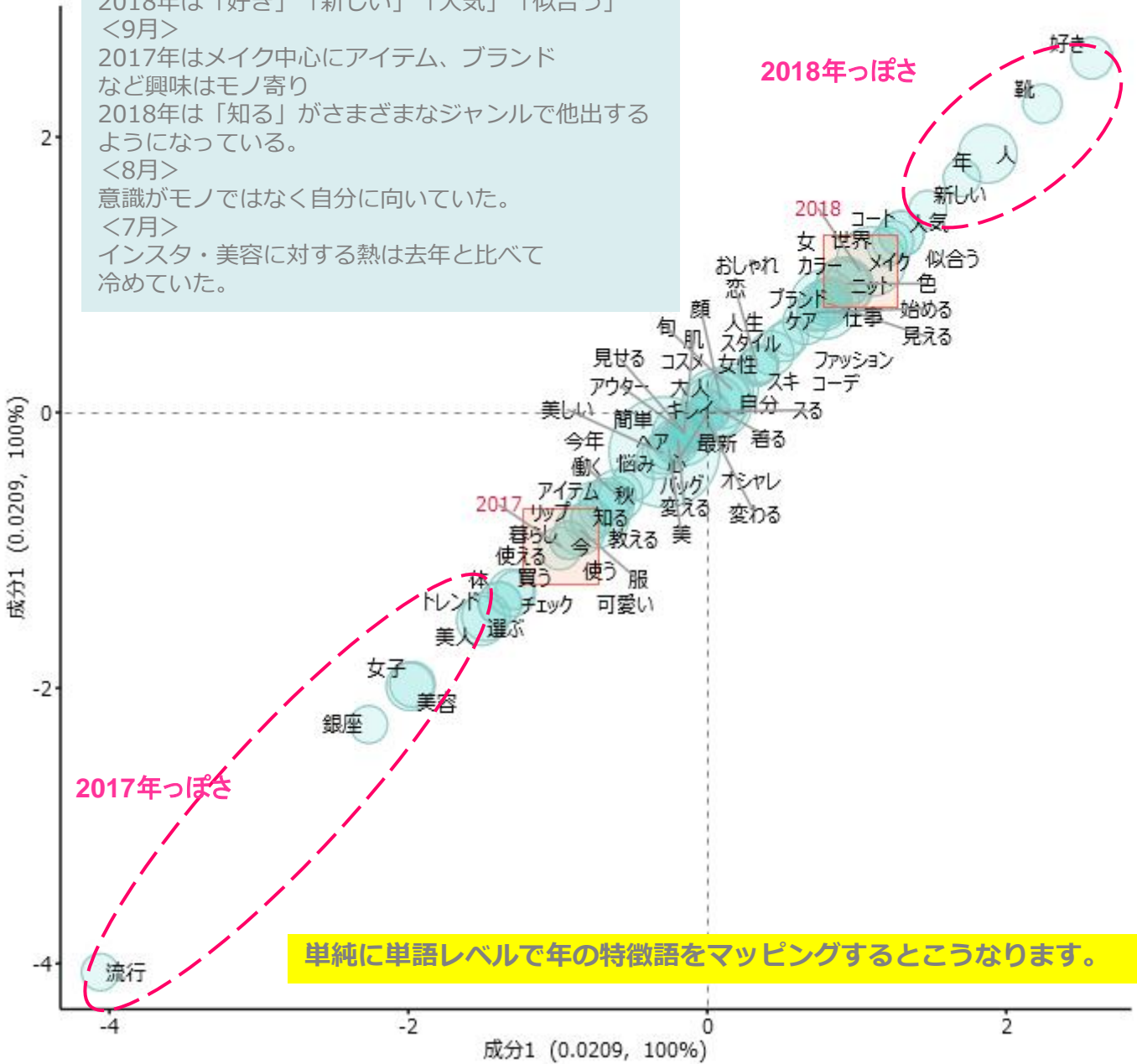
## 2018年

創刊	Milk&Honey / LOVEggg / CR FASHION BOOK←new!
休刊	vikka
発行形態変更・リニューアル	bea's up…Up PLUSとしてリニユーアル 装苑…月刊から隔月刊に おとなスタイル…季刊から随時刊行に FRaU…ムック&ネット移行

# テキスト マイニング編

# 計量分析(KHcorderによる) 前年比較 (201810)

<10月>  
2017年は「トレンド」「流行」「選ぶ」  
だったが、  
2018年は「好き」「新しい」「人気」「似合う」  
<9月>  
2017年はメイク中心にアイテム、ブランド  
など興味はモノ寄り  
2018年は「知る」がさまざまなジャンルで他出する  
ようになっている。  
<8月>  
意識がモノではなく自分に向いていた。  
<7月>  
インスタ・美容に対する熱は去年と比べて  
冷めていた。

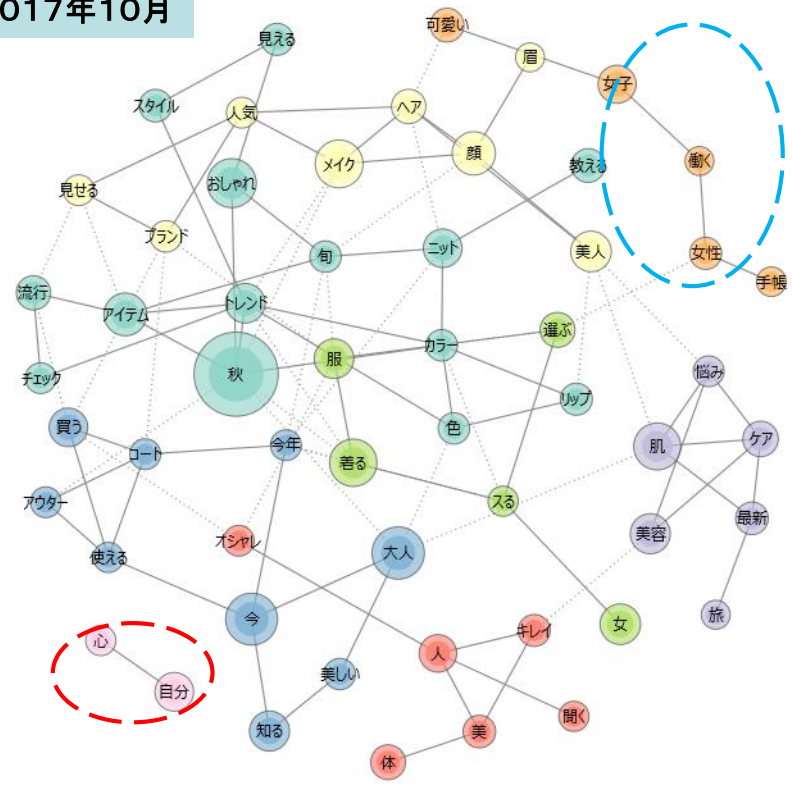


単純に単語レベルで年の特徴語をマッピングするとこうなります。

0軸に集まっているのは共通語  
0軸から離れるとそのカテゴリーの特徴語になります。

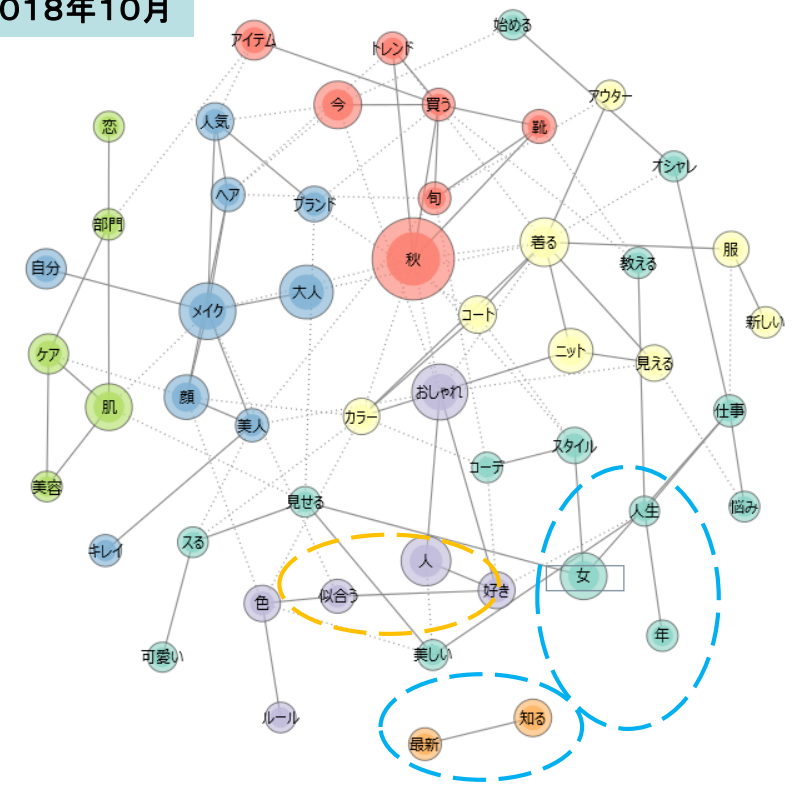
単語ではなく、共起し合うことばを比較  
をすところなります (上位100語)

2017年10月



女性一働く  
というのが  
2018年は消えている。  
⇒消えた  
仮説)  
敢えて言うことではなく  
なっている？

2018年10月

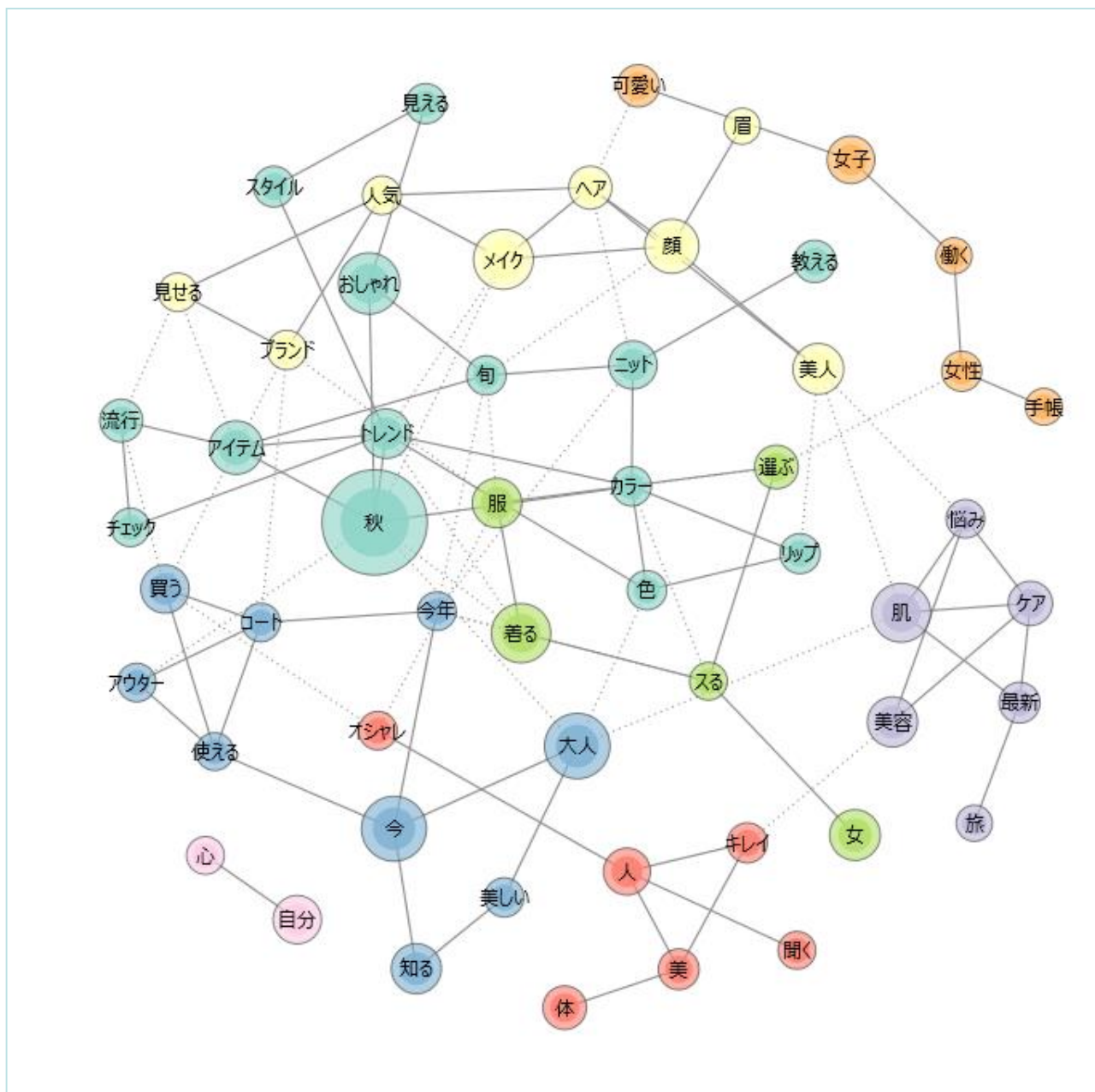


最新一知る  
はあるが、  
安易に流行やトレンド  
に乗っかる感じではな  
くなっている。

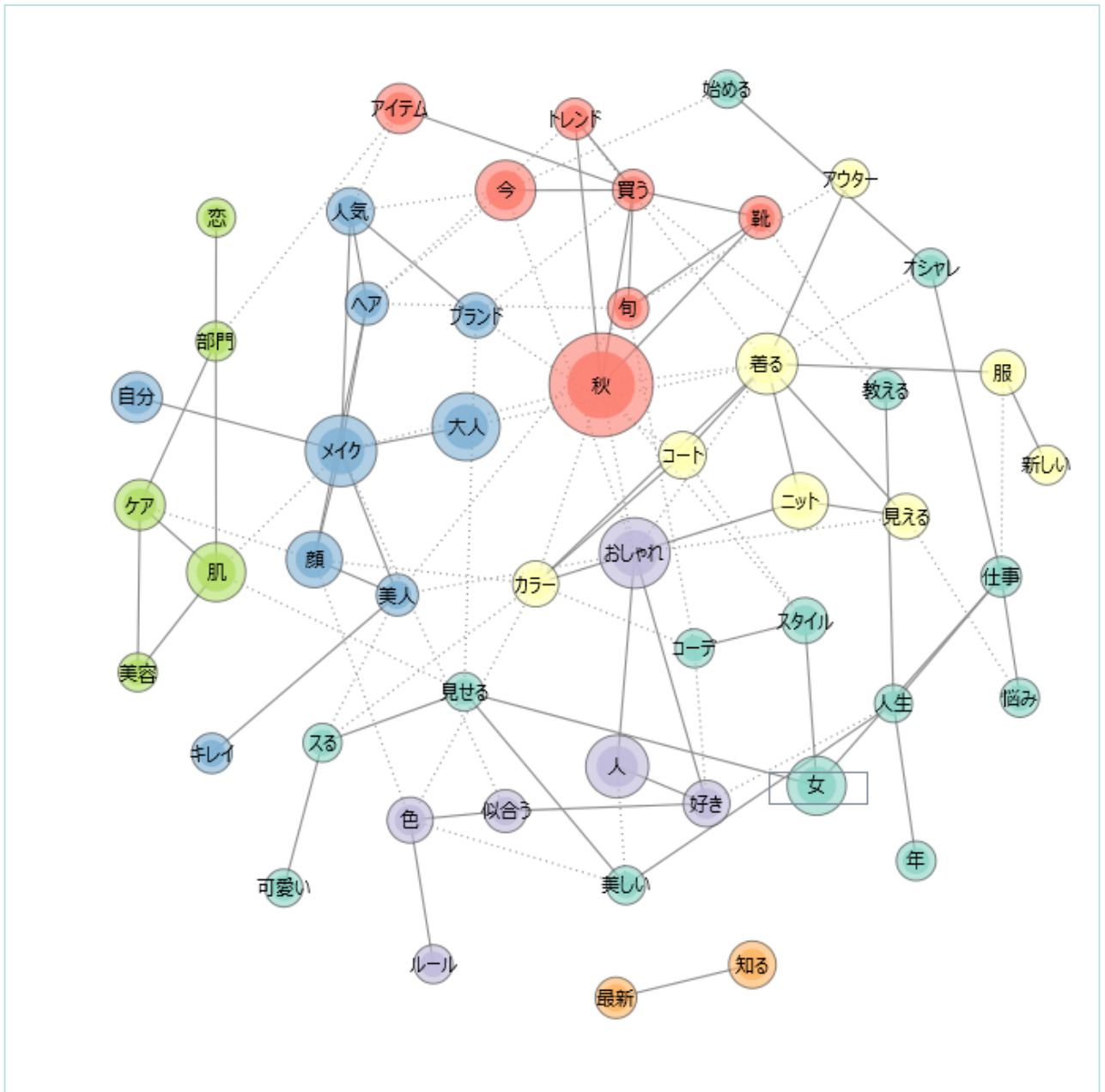
似合うー好き  
など、自分目線



# 2017年10月の 共起ネットワーク (念のため前のページの拡大版です)



# 2018年10月の 共起ネットワーク (念のため前のページの拡大版です)





# カテゴリー別頻出語

計量分析 (KHcoderによる)  
カテゴリー別の傾向 (201810)



0軸に集まっているのは共通語  
0軸から離れるとそのカテゴリーの特徴語になります。

## 女性潮流研究所 今回のキーワードまとめ

### キーワード①2018年秋ファッション

コート、ニット、配色のイマドキ

### キーワード②ちょうどいい

「映える」「いいね」より「ちょうどいい」が新鮮に感じる理由とは？

### キーワード③キャラ設定で自由自在

雰囲気操って、いろんな自分を楽しみたい

### キーワード④顔悩み

「誰かの顔になりたい」よりも、自分の顔の範囲で「ベストな自分の顔を求める」

### キーワード⑤素敵な大人

「若い」じゃなくて「きれい」、それが素敵な大人

### キーワード⑥サボ、家事、暮らし

サボは抜け感であり、それによって幸せになれる

<業界別おススメ記事はこちら>

- 化粧品業界の方は、キーワード①②③④⑤
- ファッション業界の方は、キーワード①②③⑤
- 食業界の方は、キーワード②⑥
- ライフスタイル業界の方は、キーワード②③⑤⑥
- すべての業界の方が要チェック キーワード②③⑤⑥

## 女性潮流研究所 メンバー



H瀬女性潮流研究所 所長  
総合分析を担当



N松 女性潮流研究所 副所長  
メジャーからマイナー界まで幅広くウォッチ。



P田 女性潮流研究所 客員研究員  
ハイブランドからリアルトレンドまで網羅。女性誌エディター

# 2018年10月

## キーワード①2018年秋ファッション



### 【コート】

- ◆なりたい私になれる、トレンドお試しコートは1万円台で探せ！(VERY11月号)
- ◆152cmスタイリスト安藤眞理さん 「Sサイズのコートスタイルに必要なのは“迫力”です」(HERS10月号)
- ◆人気ブランドの一着は暑い時期に売り切れる！ 平成最後の「脱いでもドヤ顔」コート(JJ11月号)
- ◆けやき坂46が着る コート未満の秋アウター(Ray11月号)
- ◆ブルゾンなわたしと、コートなあなた(SPUR11月号)
- ◆グランマ ママ ドーター “男前ステンカラーコート”(LaLaBegin10・11月号)
- ◆使えるコートの新ルール(25ans11月号)
- ◆この秋冬ずっと一緒にいられる本命コート(MORE11月号)
- ◆今っぽさ、クオリティ、プライスのバランスが抜群な10ブランド 売り切れ必至！コートは人気ドメブラ指名買い(CLASSY.11月号)
- ◆大人のエコファー&洒落コート(GLOW11月号)
- ◆最愛のコートと、過ごす冬。(オトナMUSE11月号)
- ◆オトナミュージックが選ぶ、「運命のコート」BEST10(オトナMUSE11月号)
- ◆金子綾の洒落てるコートの着こなし見本(オトナMUSE11月号)
- ◆業界人の一目惚れコート大調査！(オトナMUSE11月号)
- ◆秋を連れてくる、ニットとコート(オトナMUSE11月号)
- ◆読者代表がDomaniのコーディネートルームに潜入！ 『今年のコートどうする問題！？をみんなで考えてみた』(Domani11月号)
- ◆両方欲しいのが女ゴコロだからどちらも見せます！ あなたの今年はどう？ 一蓮托生コート派vs.流行飛びつきコート派(STORY11月号)
- ◆去年ダウンを買わなかった人、今年にしといて正解です！ “今年のダウンは急がなきゃ！？” その理由は？(Domani11月号)
- ◆まず真っ先に「オーラ出しコート」(eclat11月号)
- ◆トップブランドから厳選 ラグジュアリーなコートスタイル(家庭画報11月号)
- ◆おしゃれプロの「本命コート」キープ会(Marisol11月号)
- ◆ベーシック派のための“納得書い”最旬コート(LEE11月号)
- ◆今年は、靴よりバッグよりアウター選びに個性が出ます コートひとつで、なりたい自分になっちゃおう！(VERY11月号)
- ◆この秋の買い物順は、「コート→中の服」のススメ♡(VERY11月号)
- ◆カラーコートって、実は着回せるという事実♡(VERY11月号)
- ◆この秋買うべきトレンチコート大調査！運命のトレンチコートの見つけ方(Steady.11月号)
- ◆定番のブラック&ネイビーから、旬のキャメル・スモーキーパステルまで…洗練カラーで見つける「冬のリッチコート」色引き図鑑(Precious11月号)
- ◆今年のコートスタイル決定版(ミセス11月号)

# 2018年10月

## キーワード①2018年秋ファッション



- ◆スタイリッシュに着こなすオーセンティックなコート 着る人・長澤まさみさん(ミセス11月号)
- ◆素材と軽やかさが決め手のシンプルなおコート(ミセス11月号)
- ◆エレガントに進化したダウンコート(ミセス11月号)
- ◆次に選びたい遊び心のあるコート(ミセス11月号)
- ◆Comfort for Everyday Use 普段に着て、使って実感する。つくりのいいものリスト。オーバーサイズのコート ダッドジャケット ハイウエストデニム ショートマフラー カシミアのセーター フェアアイル柄ニット シルクブラウス カラーストーンジュエリー ハンドバッグ キルトスカート レインコート 小さい財布 ペニーローファー (&Premium11月号)

### 【ニット】

- ◆EVERYONE LOVES KNIT 『秋に似合う、ざっくりニットが好き♡』(CLUEL10月号)
- ◆可愛すぎるニット集めました(mer11月号)
- ◆[1位]「着るだけで女らしく見える」と全方位から好感度MAX! ベーシックカラーニット×秋色フレア(CanCam11月号)
- ◆[2位] 着映えする華やかコーデがバツグンの支持率GET キレイ色ニット×花柄スカート(CanCam11月号)
- ◆[5位]「おしゃれっぽい、女らしい!」とラブコール殺到♡ ゆるニット×タイトスカート(CanCam11月号)
- ◆トレンドカラーを大人っぽく着たいなら 秋のいい女は“リップとニット”で完成する。(JJ11月号)
- ◆ぶっちゃけ、胸きゅんニットとモテワンピースがあれば大丈夫!(Ray11月号)
- ◆まだまだ羽織なしでいきます! 一枚でバエるニット30days (ViVi11月号)
- ◆今どきニットを手に入れよう!(25ans11月号)
- ◆毎日すぽっと着るだけで、おしゃれに見えて今っぽい。考えなくても使えるニット(MORE11月号)
- ◆骨格診断で選ぶ今年顔のフル活用ニット(with11月号)
- ◆秋ニット×スカートで、どうマンネリ打破する?(with11月号)
- ◆秋のオシャレを決めるのはやっぱりこのアイテム新しいニット、新しいわたし。(CLASSY.11月号)
- ◆今年っぽくて使い勝手がいい6着をフル活用 毎日ニットで10月の着回しDiary(CLASSY.11月号)
- ◆定番ボトムスと好相性な15着をピックアップ ワンツーコーデが見違える着映えニット図鑑(CLASSY.11月号)
- ◆平日にはきちんと感を、休日には親しみやすさを 好感度ニットはセットアップとワンピースで決まり!(CLASSY.11月号)

# 2018年10月

## キーワード①2018年秋ファッション



- ◆型崩れしない洗い方を洗濯王子がレクチャー “洗えるニット”があればどんな予定も乗り切れる(CLASSY.11月号)
- ◆体型がはっきり出るアイテムだから要注意！ 骨格診断ニットでスタイルアップをあきらめない(CLASSY.11月号)
- ◆パーソナルカラー診断で似合う色選びを 知りたいのは顔が“くすまない”カラーニット(CLASSY.11月号)
- ◆毎年、シーズン前から争奪戦！“色ち買い”読者続出！ ニットの神ブランドGALERIE VIEに夢中です(CLASSY.11月号)
- ◆オシャレ上級者はもう始めています 久しぶりにニットのレイヤードが帰ってきた！(CLASSY.11月号)
- ◆「太って見える」「パジャマみたい」そんなお悩みを全部解決 ニットボトムスを攻略するための“ちょっとしたコツ”(CLASSY.11月号)
- ◆趣里×ローゲージニット(Oggi11月号)
- ◆私をぜんぶわかってくれてる！優しいニットに甘えたい。(GLOW11月号)
- ◆天使の優しさ！指名買いの神ニット(GLOW11月号)
- ◆ヘビロテ確定！大人が甘えられるニット(GLOW11月号)
- ◆体型に優しい！ニットをすっきり着こなすコツ(GLOW11月号)
- ◆秋を連れてくる、ニットとコート(オトナMUSE11月号)
- ◆秋買いファーストはまずニットから！『私を幸せにしてくれるニットはどこにありますか？』(Domani11月号)
- ◆日常もイベントも、3枚のニットでこの秋冬を乗り切る方法教えます ニット×パンツだけなのに“アガる”おしゃれ大研究(STORY11月号)
- ◆定番の「ネイビー」ニット&パンツの着こなしを、旬にアップデート！(Marisol11月号)
- ◆最愛ニット“くすまない”が絶対条件。顔映えさし色ニットカラーパレット(Marisol11月号)
- ◆今年の「旬ニット」で着映えも！着やせも！完璧(LEE11月号)
- ◆“ニットに合う肌”を考える(VERY11月号)
- ◆1 + 1でも何となくサマになっちゃうからこそニットで平均点以上を取りたい！(VERY11月号)
- ◆着ぶくれする、野暮ったく見える…大人の着こなし問題をクリア！ 30代がお洒落に着るざっくりニット(InRed11月号)
- ◆有村架純 ニットの季節になりました。(Steady.11月号)
- ◆今から着られるAutumn Knit 着やせ“して見える魔法の秋ニット、ください！(Steady.11月号)
- ◆autumn in NEW YORKオータム・イン・NY！秋は毎日ニットさえあればいい(GLITTER11月号)

# 2018年10月

## キーワード①2018年秋ファッション



- ◆ 4 KNIT 3 LOOKS # OOTD今すぐワードローブに追加したい+ 1ニット(GLITTER11月号)
- ◆ Comfort for Everyday Use 普段にきて、使って実感する。つくりのいいもののリスト。オーバーサイズのコート ダッドジャケット ハイウエストデニム ショートマフラー カシミアのセーター フェアアイル柄ニット シルクブラウス カラーストーンジュエリー ハンドバッグ キルトスカート レインコート 小さい財布 ペニーローファー (&Premium11月号)
- ◆ COVER WOMAN 石田ゆり子「ニットと過ごす優しい時間」(GLOW11月号)

### 【秋配色】

- ◆ レッツ、紺ブレ。(GINZA10月号)
- ◆ コンサバママの遊園地コーデは紺色アスレジャー(VERY11月号)
- ◆ [#最旬オレンジ] [#胸キュンモーヴ] [#美人ネイビー] [#華やかラメ] [#ピュアブラウン] \なりたい顔になれるカラー別・絶対使えるアイシャドウパレット20(CanCam11月号)
- ◆ 辻直子のおしゃれは色とコンサバティブでできている 10 Green 少し手ごわいグリーンは、「ネイビー感覚」で着る(BAILA10月号)
- ◆ アラフォーは「ブラウン」でこなれる! 「ネイビー」にときめく!(Marisol11月号)
- ◆ この秋、「ネイビー」は「ツヤありorツヤ足し」にときめく!(Marisol11月号)
- ◆ 定番の「ネイビー」ニット&パンツの着こなしを、旬にアップデート!(Marisol11月号)
- ◆ “差がつく”ネイビー上手な最旬ブランドLIST(VERY11月号)
- ◆ 定番のブラック&ネイビーから、旬のキャメル・スモーキーパステルまで…洗練カラーで見つける「冬のリッチコート」色引き図鑑(Precious11月号)
- ◆ Prologue 秋色の街に映える「グレイジュ」の洗練(Precious11月号)
- ◆ 座談会 この冬も「グレイジュ」が素敵に見えるこれだけの理由(Precious11月号)
- ◆ 「グレイジュ」を制するなら、まずはグラデーションをマスターする(Precious11月号)
- ◆ 色合わせがいい!と言われる「グレイジュ最新配色」実例(Precious11月号)
- ◆ 「グレイジュ」を鮮やかに引き締める正解ジュエリー・レシピ(Precious11月号)
- ◆ リラックスした休日こそ、「上質グレイジュ」で贅沢に(Precious11月号)
- ◆ 最愛ブランドで見つけた最新「グレイジュ名品」ご予約帳(Precious11月号)
- ◆ 大好きな「グレイジュ」、おしゃれ達人は、こう着ます!(Precious11月号)
- ◆ 目ざしたいのは、ただいまカフェでちょっとお仕事中、のあのゆるっと感! 秋”スタバ配色”でいく!(Domani11月号)
- ◆ 違いのわかる女は”スタバ配色系”パンツをまず一枚!パンツなら”キャラメルマキアート”vs”エスプレッソ”でしょ!(Domani11月号)



# 2018年10月

## キーワード①2018年秋ファッション



- ◆ビター&スイートなこのブレンド加減がたまりません！ “スタバ配色”に [ピンク] と [ブルー] で大人の甘さ・をカスタム！(Domani11月号)
- ◆あるとないとじゃ大違い！？ 地味な人とおしゃれな人の差はザ・ここにある！ “スタバ配色”にはスカーフがお約束♡(Domani11月号)

# 2018年10月キーワード①

コート、ニット、配色のイマドキ



H瀬●まずは、秋冬ファッションについて。まずはコートですね。



N松●コート選びに関する特集が一番に来ていたり、冬ファッションの主役として今年は一層重視されているようです。



P田●「コートは10年もの」という意識がなくなった感じがします。高級でつくりがよくて、長く着られる1着を厳選するという感じから、コートも今っぽさ重視に変化。



H瀬●長期的に着るコートと、短期的に着るコートと二つの市場がありそう。最近になって「トレンドコート」っていうひとつのジャンルができた感じですね。

- ◆読者代表がDomaniのコーディネートルームに潜入！ 『今年のコートどうする問題！？をみんなで考えてみた』(Domani11月号)
- ◆両方欲しいのが女ゴコロだからどちらも見せます！ あなたの今年はどこ？ 一蓮托生コート派vs.流行飛びつきコート派(STORY11月号)
- ◆なりたい私になれる、トレンドお試しコートは1万円台で探せ！(VERY11月号)

ただ、長期的な10年ものコートっていう価値観は30代以下にはなさそう。そしてアラフィフ世代は、安いコート買っちゃって「安物買いの銭失いにならないかな？」という恐る恐るな気持ちなのかもしれない。世代によってアプローチをかえる必要があるそう。



P田●「今年のコート」「トレンドコート」「お試しコート」と、むしろコートにこそトレンド感、今っぽさ感が出るという仕掛けが多い。むしろ、コートにこそ今年らしさが出る煽っている。



N松●こここのころの、「髪を切った人からおしゃれ」というトレンドのように、「コートを買った人からおしゃれ」みたいなノリ。

- ◆人気ブランドの一着は暑い時期に売り切れる！ 平成最後の『脱いでモヤ顔』コート(JJ11月号)

など、寒くなってから動くのでは遅い！…と何はともあれ「買わなきゃいけない」空気ムンムンです。



P田●人気の価格帯、ブランドのコートって、早いうちに売り切れるなとも思っていて、早め勝負を煽るようになってきている。コートって、買うのに勇気がいる価格だから、本当なら吟味した一着、なのだろうけど、今は、安いものでOK、しっかり更新していきましょう、その方がおしゃれ感が出ます、の気分なのかも。

# 2018年10月キーワード①

コート、ニット、配色のイマドキ



N松●とはいえ、ザ・トレンド！という絶対的人気の型とか、今年らしさ満載の型、というのは見えて来ないんですね。（逆にトレンドとしてのトレンチは終わった模様。）それぞれの型の中で、去年までとちょっと違うアレンジが施されて、色んなタイプが共存している印象。実際にお店を見ても、ベーシックなものもあれば、ショート丈もあり、チェック柄もあり、カラーものもあり、もちろんダウンもあり…という感じですね。

◆去年ダウンを買わなかった人、今年にしといて正解です！（Domani11月号）

との見出しもありますが、コート全体においては、去年買わなかった人はもちろん、去年買った人も、今年のを1枚買わなきゃ！という空気で、去年のとかぶらないタイプが必ず見つかるぐらいの推しアイテムになっています。



H瀬●お次はニットの話を。



N松●ニットって、避けては通れない日常アイテムというイメージなんですが、今年は付加価値アイテムというか、自分を演出するキーアイテムとして取り上げられているなあと思います。



P田●ニットと見え方、美容のバランスについての記事。ニットに似合う肌とか、ニットと着やせとか。毎日着るアイテムを今さら、ではあるけれど、デイリーなアイテムだからこそ、どう着るか、が大切であり、ひねりどころなのだなど。



N松●目新しいデザインとか高機能とかいうことではなく、日常アイテムだからこそ「普通+a」の範疇の盛り感。どうせ着るなら可愛いのが、という感じでしょうか。男性も子供も着るアイテムの中で、女性ものがこれだけデザイン豊富なのはニットぐらいでは？だからこそ、可愛いとか女らしいといったイメージがやはりフックになりそう。

各ブランドの新作ニットをデザイン特徴やカラーで仕分けしてカタログ的に載せた企画が定番である中、CanCamの「ニット+ボトムス」というコーディネートごとの提案が目を引きます。

◆ [1位] 「着るだけで女らしく見える」と全方位から好感度MAX！ ベーシックカラーニット×秋色フレア(CanCam11月号)

◆ [2位] 着映える華やかコーデがバツグンの支持率GET キレイ色ニット×花柄スカート(CanCam11月号)

◆ [5位] 「おしゃれっぽいし、女らしい！」とラブコール殺到♡ ゆるニット×タイトスカート(CanCam11月号)

ニット単体では可愛いのに、何も考えずにデニムを合わせちゃった…みたいな人、いますよね。こう見せたいなら、どんなニットにどんなスカートを合わせる、という「お手本」を手取り足取り教えてくれる感じ、雑誌ならではだなあと思いました。女らしいとか華やかといった目指すイメージも含め、なんだかCanCamの底力を見せられたような気がします。

# 2018年10月キーワード①

コート、ニット、配色のイマドキ



N松●CLASSY.も気合いが入っていて、ニットの選び方・合わせ方・苦手克服術など、ニットを着倒すために全方位から攻めています。ニットって、みんなが着るからこそ、おしゃれに見せるのって実は難しいんだなあと思いました。体型が分かってしまうところなども含め、デニムなんかと同じですね。

- ◆秋のオシャレを決めるのはやっぱりこのアイテム新しいニット、新しいわたし。(CLASSY.11月号)
- ◆今年っぽくて使い勝手がいい6着をフル活用 毎日ニットで10月の着回しDiary(CLASSY.11月号)
- ◆定番ボトムスと好相性な15着をピックアップ ワンツーコーデが見違える着映えニット図鑑(CLASSY.11月号)
- ◆平日にはきちんと感を、休日には親しみやすさを 好感度ニットはセットアップとワンピースで決まり！(CLASSY.11月号)
- ◆型崩れしない洗い方を洗濯王子がレクチャー “洗えるニット”があればどんな予定も乗り切れる(CLASSY.11月号)
- ◆体型がはっきり出るアイテムだから要注意！ 骨格診断ニットでスタイルアップをあきらめない(CLASSY.11月号)
- ◆パーソナルカラー診断で似合う色選びを 知りたいのは顔が“くすまない”カラーニット(CLASSY.11月号)
- ◆毎年、シーズン前から争奪戦！“色ち買い”読者続出！ ニットの神ブランドGALERIE VIEに夢中です(CLASSY.11月号)
- ◆オシャレ上級者はもう始めています 久しぶりにニットのレイヤードが帰ってきた！(CLASSY.11月号)
- ◆「太って見える」「パジャマみたい」そんなお悩みを全部解決 ニットボトムスを攻略するための“ちょっとしたコツ”(CLASSY.11月号)



H瀬●手取り足取りだったとしても、そもそもが「コーディネートめんどくせ〜」と思ってる層には、こんな感じのキャッチが有効なのかも。コーデの提案が左脳的だとしたら、テクスチャーは右脳に訴える感じかな。「天使のニット」とか、「すぽっと着るだけ」とか。

- ◆私をぜんぶわかってくれてる！優しいニットに甘えたい。(GLOW11月号)
- ◆天使の優しさ！指名買いの神ニット(GLOW11月号)
- ◆毎日すぽっと着るだけで、おしゃれに見えて今っぽい。考えなくても使えるニット(MORE11月号)

そういう意味ではDomaniの「スタバ配色」は、配色という左脳の話スタバという右脳の話に転換しててうまいなと思いました。

- ◆目ざしたいのは、ただいまカフェでちょっとお仕事中、のあのゆるっと感！ 秋“スタバ配色”でいく！(Domani11月号)
- ◆違いのわかる女は“スタバ配色系”パンツをまず一枚！パンツなら“キャラメルマキアート”vs“エスプレッソ”でしょ！(Domani11月号)
- ◆ビター&スイートなこのブレンド加減がたまりません！ “スタバ配色”に[ピンク]と[ブルー]で大人の甘さ・をカスタム！(Domani11月号)
- ◆あるとないとじゃ大違い！？ 地味な人とおしゃれな人の差はザ・ここにある！ “スタバ配色”にはスカーフがお約束♡(Domani11月号)。

# 2018年10月キーワード①

コート、ニット、配色のイマドキ



P田●そして秋配色。「スタバ配色」は気になってました。とても表紙で目を引いたなど。私はてっきりコーヒー系の色と、濃いグリーン←店舗とかマークの色が入ってるのかと思ったら、グリーンは入ってなかったの、えー！と思ってしまった（笑）けれどそんな風に想像させるところは、うまいなど。カフェオレ色の服、みたいな特集を別で少し前に見ましたが、その延長かな。そういう雑誌っぽさが今どうなのか、というのはいさし疑問な点ではあると思いますが。



N松●他に「色」をテーマにしたファッション特集で目を引くのは、Marisolの「ブラウン&ネイビー」、Preciousの「グレイージュ」、でしょうか。いずれも、働く40代がターゲットの雑誌ですが、色選びに敏感さを増す年代ということも反映しているかも。どの色・配色も、大人っぽさ・上品さ・知的さといった、仕事場で求められるイメージを体現する色ですが、顔がくすんで見えたり、地味・凡庸・制服っぽく見える、下手するとおじさんっぽく見える（！）というリスクもある。だからこそ、そちらに転ばず**年相応にキレイに見える色選びを知りたいというニーズは高そう**。色を着たくなる春でも、世の中はピンクなどのパステルカラー中心でこの年代にはちょっとお呼びでない感があったり、夏になってはじけた原色ときたらもっと気後れする…という中で、ようやく秋のこっくりカラーに居場所を見出す、なんてイメージ。



H瀬●確かにシーズンの**大人が買い物**が**楽しくなる時期**ですね。



N松●**秋の色と大人世代は相性がいい**んだなあと改めて感じました。

# 2018年10月

## キーワード②ちょうどいい



- ◆ 2回目以降のデートには全身キメキメより、1点ユニクロ投入でメンズに親近感を “あえてのユニクロ”がモテる説(美人百花10月号)
- ◆ 平日にはきちんと感を、休日には親しみやすさを 好感度ニットはセットアップとワンピースで決まり！(CLASSY.11月号)
- ◆ 中野明海さんが考える“ちょうどいい”ネイル(CREA11月号)
- ◆ カッコいい代表アウターは少し可愛く着るのがちょうどいい 甘黒ライダーズの季節がやってきた！(JJ11月号)
- ◆ ほどよいサイズ感がわかれば、体形は自分を表す個性になる。(クロワッサン9/25号)
- ◆ 秋こそ惹かれちゃう！わたしたちに似合ういい塩梅を見つけました。 JAPANESE GIRLのための外国人風フレンチおしゃれ(mer11月号)
- ◆ せっかく買うなら、間違いないものもいい！ “わかってらっしゃる系”バッグ、ココにあります(SPRiNG11月号)
- ◆ 「楽チン」と「きちんと見え」が両取りできるテクニク満載でお届け！ Everyday！ノーヒール通勤着回し30days(美人百花10月号)
- ◆ 毎日すぽっと着るだけで、おしゃれに見えて今っぽい。考えなくても使えるニット(MORE11月号)



## 2018年10月キーワード②ちよūdいい

「映える」「いいね」より「ちよūdいい」が新鮮に感じる理由とは？



H瀬●「映える」「いいね」より「ちよūdいい」が気分かな？とって取り上げました。

- ◆中野明海さんが考える“ちよūdいい”ネイル(CREA11月号)
- ◆秋こそ惹かれちゃう！わたしたちに似合ういい塩梅を見つけました。 JAPANESE GIRL のための外国人風フレンチおしゃれ(mer11月号)

こんな風に「ちよūdいい」とか「いい塩梅」とか、新鮮に見えましたよ。



N松●世の中、「映え疲れ」し始めているのではないかと思っているのですが、映えるとか盛るの実践は、やはりどんどんプラス方向に行きがちだし、その分自分らしさからは離れていくはず。



P田●映える！目立つ！おしゃれ！とかより、少し空気を読んだ、ちよūdいいおしゃれ、が、秋の立ち上がりだというのに多く見られますね。でもどれも、わかるわかる、といった感じ。

ちよūdいいバッグ、とかも、ちよūdいい、には、値段のことも含まれているけど、安ければいい、安いからいい、ってことではなくて、目立ち方や他の人から見てどう思われるかみたいなことを含めてのちよūdいい、なんだろうなあ、と思いました。

- ◆2回目以降のデートには全身キメキメより、1点ユニクロ投入でメンズに親近感を “あえてのユニクロ”がモテる説(美人百花10月号)

「あえてのユニクロがモテる」は、全部キメキメより、これユニクロなのー、があったほうが好感度が高そうだし、ユニクロを安くてもおしゃれなもの、というだけでなく、ユニクロを買う人の好感度みたいなものを含めた価値のあるものとして捉えていて面白いなあと思いました。



N松●ここに挙がっている見出しから見える「ちよūdよさ」は主に、キメすぎずほどよく抜くことでの親近感・好感度アップが狙い。確かに、トレンドセッターやインスタグラマーのかっこよさは、なかなか自分自身を投影できるものじゃないし、遠くから眺めて憧れたりされるものの、えてして男性にはモテない。それでもいいから素敵に映えたい！という気分だったのが、やや鎮火して現実世界に戻りつつあるというか、実を取りたい感じになってきていると思います。



P田●あとは、似合ってるとか、無理がない、とかいうのも大切なのかなと。なんとなく、20歳前後の女の子たちは、もっと映えることとかを重視して、少し無理をしても→値段も見た目も、という人たちかなと思っていたので少し意外な流れではあるかなと。

## 2018年10月キーワード②ちょうどいい

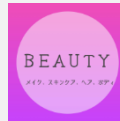
「映える」「いいね」より「ちょうどいい」が新鮮に感じる理由とは？



N松●そうそう、「ちょうどいい」が目標とされるのは、「似合う」を追求する流れかも！見た目も行動も、映えとか突出することはそんなに求めてなくて、かといって埋没したり周りに合わせすぎるのも良しとせず。言葉としては現れていないけれど、「私らしさ」を求める気分がまた出てきているんじゃないかと思いました。「頑張らない」のを良しとする気分も結構前からありますが、それも「私らしさ」というコアへの回帰なのかも？

# 2018年10月

## キーワード③キャラ設定で自由自在



- ◆ゆる〜くてボーイッシュ、でもほど良く女のコ だから私たち“カジュアル可愛い”が好き (mer11月号)
- ◆やわらかくて 優しくて 可愛らしい 素敵な女のコっていつもナチュラル(mer11月号)
- ◆特集 | キラリ、つややか、ふんわり、すべすべ いつもの服に女性らしさをひとふり(ナチュリラ11月号)
- ◆外国風・ナチュラル・カジュアル いろんな自分を楽しみたい! 欲張り女子の3STYLE 33DAYS 着まわしLESSON(mer11月号)
- ◆ガーリー、カジュアル、セクシー、オルチャン なりたいイメージ別に描き方を変えるのが今っぽい! ※(注)眉毛はメイクの良し悪しを決める大事なパーツです。自分に似合う最新眉メイク GUIDE(LOVEgg11月号)

### 【タレントもキャラ】

- ◆なれるものなら、新垣結衣(MAQUIA11月号)
- ◆なれるものなら紗栄子になりたい! (Sweet10月号)
- ◆“なりたい雰囲気No.1”のあの人、実は毎日デニムだった! 憧れの先輩神崎恵さんが「デニムでも色っぽい」理由(JJ11月号)
- ◆SPECIAL INTERVIEW 桐谷美玲 好きな人と結婚しました! (BAILA10月号)
- ◆天海祐希さん 「似合う、似合わないより“好き”に敏感でいたい」(HERS10月号)
- ◆「彼と息子と。ファミリー3人で初登場 仁香が教えてくれた、十人十色の家族のカタチ」本当の幸せに気がついた仁香が、16歳下の彼と息子とともに揃って初めてメディアに登場してくれた。(Numero TOKYO No.121)
- ◆ViVi史上、自身初のALLセルフスタイリング!! 水原希子“自分最高”のフィロソフィー (ViVi11月号)
- ◆私と体幹 Interview 水川あさみ 週1回の体幹トレで筋肉量がアップ 疲れにくくなりました(日経Health11月号)
- ◆COVER WOMAN 吉田羊 大人が目指すのは媚びない女らしさ(InRed11月号)
- ◆北川景子 仕事では、まず信頼されること。そのために、ブレない自分であり続ける(日経WOMAN11月号)
- ◆門脇 麦 本屋さんで待ち合わせ(CREA11月号)
- ◆COVER WOMAN 石田ゆり子「ニットと過ごす優しい時間」(GLOW11月号)

# 2018年10月キーワード③キャラ設定で自由自在

雰囲気操って、いろんな自分を楽しみたい



H瀬●最近のキャラづけ、昔と変わってきていますね。



N松●私が気に入ったのはこれです。

◆「外国風・ナチュラル・カジュアル いろんな自分を楽しみたい！ 欲張り女子の3 STYLE 33DAYS 着まわしLESSON」(mer11月号)

2007年頃だったら、外国風のA子とナチュラル派のB子とカジュアル派のC子の着まわし対決、というのが「エビ・もえ・優OL@CanCam」的なよくある図式だったのですが、**一人の女子に全部入りがいマドキ**なんです。どのイメージも極める気はなくて、その日その日の気分で〇〇風を楽しむ。最近の10代は、複数のSNSアカウントを、それぞれ違ったキャラ設定で使い分けるそうですが、ちょっとそれに似たところがあるかも。最近の若者は、とにかくお金がないし使わない、と言われていますが、お金を持っていた**昔の若者の何倍もファッションやメイクイメージの手札を使い分けていて、研究熱心だとしても器用だ**と思います。**色んなキャラの人になれることこそがおしゃれ**、という感じもあるのでは。



H瀬●わかります。

◆ガーリー、カジュアル、セクシー、オルチャン になりたいイメージ別に描き方を変えるのが今っぽい！ ※(注)眉毛はメイクの良し悪しを決める大事なパーツです。自分に似合う最新眉メイクGUIDE(LOVEggg11月号)

こっちは「ガーリー」「カジュアル」「セクシー」「オルチャン」。メイクやファッションで、**同じ女の子がいくつも顔が持てる**んですよね。女性潮流研究所では「**心のキャラ**」って名付けているんですが、最近では**顔も変えることができる**ようになっている。



N松●今は、こんな人！と一言で表せるようなキャラや、ギャップ萌えを誘引するような印象が強いキャラを複数持っているとじゃなく、**色んな要素をゆるくたくさん、バランス良く備えているのが理想**。ほどよく〇〇でほどよく△△…というオールラウンダー。自分はサッカー好きなので、オシム監督以来メジャーになった「ポリバレンタ(=複数のポジション、働きができること)」という言葉思い出します(笑)。



H瀬●芸能人は逆って感じですね。**内面のキャラが立っている人が支持される**。一昔前の「あの人の顔になりたい」みたいなメイク特集が減っている。

# 2018年10月キーワード③キャラ設定で自由自在

雰囲気操って、いろんな自分を楽しみたい



N松●「顔」フォーカスは少ないですね。誰それが新作ニットを着る、みたいなファッション企画が多い。

タレントへの評価が、女優であれば綺麗な顔と演技力、ぐらいたったのが、バラエティ番組での受け答えやSNSで発信される内容（自意識過剰ではなく、ほどよくプライベートを垣間見せ、ほどよく更新…とファンが求めるSNSのあり方はかなり事細かい！）など、多岐に渡るようになってきて、まさに「キャラ」全体を見られるゆえに、顔にフォーカスした取り上げられ方が少なくなっているのでは。

北川景子のような美人でさえ、プラスアルファとなるもの（ここに上げた日経WOMANでは、「仕事ができる女」という側面）がなければ淘汰されてしまうような状況なんですよ。



P田●しっかり女優として活躍している人も、ファッションや生き方に一家言ある感じ、キャラクターをきちんと打ち出していかなばという感じを受けます。

雑誌はそのイメージをうまくつける媒体ではあると思うのですが、そこがドンピシャはまる、という人ばかりいないのかな？という感じも。雑誌のモデルにタレントを使うのはもはや必須という感じになっていますね。なんでなんだろう？メジャー感？広告対策？事務所との付き合い？



H瀬●そういう大人の事情で、すごい強いキャラという人でなくても、芸能人が雑誌にいっぱい出ていながら、そこは普通にスルーされてますね。

若い女子の雑誌で「なれるものなら」と「なりたい雰囲気No.1」とがあったのが面白かったです。

◆なれるものなら、新垣結衣(MAQUIA11月号)

◆なれるものなら紗栄子になりたい！(Sweet10月号)

◆“なりたい雰囲気No.1”のあの人、実は毎日デニムだった！ 憧れの先輩神崎恵さんが「デニムでも色っばい」理由(JJ11月号)

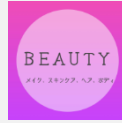
ガッキーと紗栄子は特異なポジションの芸能人すぎて絶対になれない。

“なりたい雰囲気”の神崎恵さんに関しては、一般人に近い。別に本人になりたいわけじゃないけど、技術的に何か真似できることがありそうな気がする。

キャラって「雰囲気」をどう操るかってことなのかもしれませんね。

# 2018年10月

## キーワード④顔悩み



- ◆人中短縮メイクで小顔も、美人バランスも(MAQUIA11月号)
- ◆ほうれい線、エラ張り、あごのたるみ、目の左右差etc.…もすべてこれが原因だった！顔の歪みをとって美人になる(VoCE11月号)
- ◆“顔の脂肪ケア”こそ上向き美肌の必須条件(美的11月号)
- ◆読者の肌のお悩みとして常に上がってくるのが輪郭のゆるみ、フェースラインのくずれetc. 「たるみ」に関連するワード。その進行度は人それぞれだけれど、共通しているのは“気になったその日からケアすべし！”ということ。完全保存版！「たるみ排出」スパルタ塾、開校！ 目指すは輪郭スッキリ！(美的11月号)
- ◆シミ、シワ、たるみ、中年太り 40代で急に劣化する人 VS 劣化しない人(サンキュ！11月号)
- ◆しょぼくれ顔から脱出！(ELLE japon11月号)
- ◆のっぺり、面長、老け顔 etc. 日本人特有の平たい顔にひと味加えてマンガのヒロインみたいなメリハリ顔に！ 高粘度ヒアルロン酸注入 ハートチークで叶えるラブリーFaceの作り方★(LOVEggg11月号)
- ◆ツリ目がイヤ！ エラ張りが気になる！ 地味顔を華やかにしたい！ etc. MYメイクが苦手な新人たちのお悩みをプロが解決！ NEWラブモの映え顔メイクテク！(LOVEggg11月号)
- ◆40歳の本音ビューティ研究所／あなたの手と爪、顔より老けていませんか…？(Marisol11月号)
- ◆年々失われる顔のメリハリを取り戻す！ 顔の“余白埋め”メイク(VoCE11月号)



## 2018年10月キーワード④顔悩み

「誰の顔になりたい」よりも、自分の顔の範囲で「ベストな自分の顔を求める」



H瀬●先月は、小顔、白肌、色素薄いなどの「なりたい顔」の話でしたね。

過去記事の参考◆2018年9月キーワード③勝ちの定義（白肌・色素・小顔）  
[http://www.beauty-brain.com/trend\\_bunseki/446.html](http://www.beauty-brain.com/trend_bunseki/446.html)

今月は「顔の悩み」についてです。「顔の悩み」は複雑化していて、みんな知識豊富。「えら」「人中」「目の左右差」「ほうれい線」「顔の余白」など、今の中年層が若い頃は存在すら知らなかったのでは？

- ◆ほうれい線、エラ張り、あごのたるみ、目の左右差etc.…もすべてこれが原因だった！ 顔の歪みをとって美人になる(VoCE11月号)
- ◆のっぺり、面長、老け顔 etc. 日本人特有の平たい顔にひと味加えてマンガのヒロインみたいなメリハリ顔に！ 高粘度ヒアルロン酸注入 ハートチークで叶えるラブリーFaceの作り方★(LOVEggg11月号)
- ◆ツリ目がイヤ！ エラ張りが気になる！ 地味顔を華やかにしたい！ etc. MYメイクが苦手な新人たちのお悩みをプロが解決！ NEWラブモの映え顔メイクテク！(LOVEggg11月号)
- ◆年々失われる顔のメリハリを取り戻す！ 顔の“余白埋め”メイク(VoCE11月号)
- ◆人中短縮メイクで小顔も、美人バランスも(MAQUIA11月号)



P田●人中、たしかに。長いと間が抜けて見えるし、老けて見える。年齢と共に顔の間延び=余白が気になる、それはそうだ！みたいに、言語化することで、ドキッとさせられません。



N松●顔以外もですよ。

- ◆40歳の本音ビューティ研究所／あなたの手と爪、顔より老けていませんか…？(Marisol11月号)

ここ10年ぐらいの間で、特にアンチエイジング分野においてケアすべき箇所が広がった印象があります。例えば手指とか姿勢とか声とか。最近の顔悩みも、「そんなところ気にしたことなかった…でも言われてみれば」みたいに、気にしだすとあそこもここも状態。私たちも、潜在的な気分などを言語化・顕在化するというところをお仕事にさせていただいているので敏感になりますね。



P田●なんだかぼんやり前と違う、と思っていることをズバリ指摘する、細かい分析、指摘力みたいなものが、人をドキッとさせ、スキンケアなりメイクなりに駆り立てるなあと思います。

キーワード③「キャラ」のところで「この女優の顔になる真似っこメイク」のような気分ではなくなっているというのがありましたよね。それも、個性とか、特徴を潰したり無視したりしてはきれいになれないこ、とに気付いたからですよ。



N松●これまで気にしてなかったのが気になるようになったのには、SNSで自分の顔やひとの顔を前よりたくさん客観的に見る機会が増えたことと、それに伴って問題の箇所や状態に名前が付けられるようになったからですね。

## 2018年10月キーワード④顔悩み

「誰の顔になりたい」よりも、自分の顔の範囲で「ベストな自分の顔を求める」



P田●もはや、もっと若い子たちは、**スマホで加工した自分のベスト顔をみんなアバターのように持って**暮らしていますよね。そういうのが当たり前の時代は、自分の現実の顔の余白なんてどうでもよく生きていったりする世の中が来たりするんじゃないか、とも思ったり。



H瀬●**アバター美人の映像ばかり見る時代になって、リアルな「美」の価値は上がりつつある**のかも。

海外だと、こんな世の中になる前にフォトショップの広告が禁止されていますが、2011年イギリスの広告基準局（Advertising Standards Authority）がランコムジュリア・ロバーツやメイベリンのクリスティ・ターリントンの広告を、「誤解を与える」として禁止していました。

最近の日本でびっくりしたのは、満島ひかりの一番搾りの広告。加工一切なしで、シワシワ笑顔なんです。駅の広告だと本当に細かいシワがたくさんくっきり。でも逆にインパクト大。美人には変わらないから。

一番搾り

<https://www.kirin.co.jp/products/beer/ichiban/cm/>

修正しないことがトレンドになりつつあるのか、最近改めて目立っていますね。

写真を一切修正しない下着ブランド「エアリー」は、無理したくない女性たちの心をかかっている。

[https://www.huffingtonpost.jp/2018/07/11/aerie-knows-our-feelings\\_a\\_23479292/](https://www.huffingtonpost.jp/2018/07/11/aerie-knows-our-feelings_a_23479292/)

～2006年に誕生したエアリーは、2014年、エアリーは広告写真を一切修正しないことを宣言した。モデルたちのシワやたるみ、傷やそばかす、ホクロなどは消さずに、そのまま映しだす。過去にはモデルのサイズを統一していたが、今はあらゆる体型をした女性たちを起用している。



N松●私が目を引かれたのは、ELLEの「しょぼくれ顔」というワード。

◆**しょぼくれ顔から脱出！(ELLE japon11月号)**

しょぼくれた印象をつくるのは、顔立ち・表情・顔色など色々な要素があるし、あまり年齢を問わない気がするので、美容テーマとして上手いなあと。

青グマには血色を補いつつ暗さを消すオレンジ系のコンシーラー…みたいに、**悩みと解決策が「1問1答」ではなく、しょぼくれ顔のように「印象」をどうにかしたいというの、イマドキの特徴**かも知れません。



P田●一体どうすればいいのか。「目を大きくする?」「鼻を高く見せる?」「小顔に見えるようにシェイディング?」みたいな分かりやすいことだけでなく、しょぼくれ顔みたいに「実はそこが美人顔の決め手だった!」という**地味なポイントがある**わけで、これを**チクチク潰して**いこうな、**ハッとさせてどーにかしなきゃ、と思わせるようなキヤッチ**が続いていますね。

# 2018年10月

## キーワード⑤素敵な大人



- ◆数字が証明 2018年の45歳はここまで若くなった！(美ST11月号)
- ◆“アラ45”美魔女8人、イタくない「自然体若作りメソッド」(美ST11月号)
- ◆千吉良恵子さん・岡田知子さん 「40歳に見える45歳」は肌作りで“全部塗らない”(美ST11月号)
- ◆45歳は「スキンケアを変える」元年です！(美ST11月号)
- ◆“切りっぱなし肩リングス”なら誰でも-5歳！(美ST11月号)
- ◆ジェーン・スーさん(45歳)は考える 「若く見える」と「美しく見える」は違うのだ！(美ST11月号)
- ◆「見た目が若いのは当たり前、でも若作りはイタすぎる」時代の正解は？ 45歳“いい感じに若く見える”-5歳美容(美ST11月号)
- ◆「口を開くと45歳バレ」してしまう件(美ST11月号)
- ◆50代のおしゃれは、“流行”といかに付き合うのが正解？(大人のおしゃれ手帖11月号)

## 2018年10月キーワード⑤素敵な大人

「若い」じゃなくて「きれい」、それが素敵な大人



P田●うーん、美STの表紙が、よくわからない。先月の板谷由夏はGINGERみたいだったし今月の木村佳乃はeclatみたいでした。



H瀬●とりあえず、ギラギラ的美魔女訴求をやめて久しいですね。だからオリジナリティがなくなっちゃったのかな。



N松●美STは「40歳に見える45歳」を目指す提案をしています。

◆ジェーン・スーさん（45歳）は考える 『若く見える』と『美しく見える』は違うのだ！』（美ST11月号）

はまさに膝打ち。最近の素敵なおばちゃんは、若く見えて素敵なのではなく、その年代としての素敵さを持っている人なのだと思います。その「素敵」のなかに「若く見える」が入っているかも知れませんが、それだけでは決してない。



P田●でも、誰がお手本になるのかなと考えたのですが、40代だと篠原涼子、板谷由夏、石田ゆり子、とか思うと、「むずっ！なれない！」。どうしたらいいのか、と、少し絶望的な気持ちになりますね。いい感じの40代になるためには、生まれ変わらなきゃいけないくらいの勢い（笑）



N松●お金持ちでこってりした「マダム」っていう女性像、すっかり見なくなっている中年女性誌。むしろ20～30代ぐらいの層で、成金マダムっぽいキャラがインスタなんかでは散見されますが…（笑）



P田●リアル中年は「若作りはイタイ。でも、適度に若く見せたい」「若いわねじゃなくて、きれいねと言われたい」「上手く年を重ねてと思われたい」みたいな気持ちかなと。



N松●リアル中年が若作りをすると、老けている実体が逆にあぶり出されてしまうということもある。例えば、普通にしていればきれいなのに、うっかり若い子のメイクをしたりミニスカートを履いちゃったりするおばさん…とか。

何年か前は確か、マイナス7歳を目指そう！でしたが、マイナス5歳ならリアリティがある。（これについては、先月のキーワード④「無理なき中年メイク」でも言及）。この2歳の差ってなんだろうと考えると、高望みや若作りをしなくなったというより、普通にしても少し若く見えるようにベースアップしてるということなんじゃないかと。

◆過去記事の参考

2018年9月キーワード④無理なき中年メイク

<http://www.beauty-brain.com/?p=448&preview=true>

## 2018年10月キーワード⑤素敵な大人

「若い」じゃなくて「きれい」、それが素敵な大人



P田●日本で、それなりに美とかファッションとかに、興味のある人が、うまくおばちゃん化するのって、ヨーロッパの人と比べて、とても難しいなあと思うのです。ファッションとかまで入れていくと難しすぎて絶望なので、**肌は全部塗らない、とか、髪を切るとか、地道にやっっていく**のだな、と美STのタイトルを眺めて思うのでした。

◆“切りっぱなし肩レングス”なら誰でも-5歳! (美ST11月号)

◆千吉良恵子さん・岡田知子さん 「40歳に見える45歳」は肌作りで**“全部塗らない”**(美ST11月号)



N松●**白髪OKという気分も、必ずしも若見えを求めない表れ**ですよ。そして、グレイヘアに赤口紅でカジュアルを着こなすというのが、フランスの女優っぽくて究極のおしゃれ! みたいな感じ。そんな、決しておばあちゃんとは呼べないような、お年を召したおしゃれな女性がいっぱいファッション本、最近多いですね。



P田●今年から急にそういうグレーヘア万歳ムードとかもありますが、なかなかそれは普通の人には勇気がいると思いますね。



N松●トレンドバリバリとか若く見るとかを求めている人はごく一部で、**多くは年齢や場にふさわしくて好感度の高いファッションをしたいはず**。会社員ならスーツ、OLなら制服、普段着とお出かけは別…と今よりずっとTPOに応じて着分けてきた世代だけに、おしゃれカジュアルみたいなのは不得意なのかも知れず、ちょっとしたパーティー(笑)やお出かけファッションじゃなく、普段の服装でちょっと良く見せたい、というのがニーズなんじゃないでしょうか。

大人の発達障害者の服装に関するインタビューで「**ファッションナブルじゃなくていいから、場に応じた服装を教えて欲しい**」という言葉がありました。こだわりの強さから、あるいは逆に度を越えた無頓着さから、同じ服をずっと着たりちぐはぐなコーディネートをしてしまう人がいるそうなんですよね。

これって、一般的な中高年の装いの迷い方にも通じる感覚のような気がしました。



H瀬●『大人体型の「きれい」を引き出す着こなしの作戦』という本がバカ売れだそうです。

服が売れない時代に完売続出! 謎のおばちゃんブLOGGER集団の快進撃  
<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/57952>

## 2018年10月キーワード⑤ 素敵な大人

「若い」じゃなくて「きれい」、それが素敵な大人



H瀬●この記事引用すると、

～服飾戦略スタイリストの窪田千紘氏が仲間と運営するブログ「STYLE SNAP 大人世代のリアル・クローズ」を書籍化。このブログの中で特に人気なのは、「160センチ・63キロ」という「大人体型代表・原田のビフォー&アフター」のコーナーだ（このブログではおばちゃん体型を大人体型と呼んでいる）。おばちゃんがやりがちな「NGコーデ」の次に、体型はそのままに、今風のコーデを着こなす。同じ人物なのに、5キロはやせて見える。もっさりしたおばちゃんが、急にお洒落で若々しい女性に変身する～

とのこと。篠原涼子、板谷由夏、石田ゆり子じゃなくて、参考になるのはあくまでも160センチ・63キロなんですよ。

キーワード④「顔悩み」で、修正なしの一番搾りの満島ひかりや、下着メーカー「エアリー」の事例を出しましたが、無修正は今後のキーワードになりそう。

あと、現代の記事では「謎のおばちゃんブロガー」って言うてるけど、あくまでも「大人（体型）」なのですよね。やっぱり「おばちゃん」になりたいわけじゃない。そこ、とっても繊細で重要ですね。

STYLE SNAP 大人世代のリアル・クローズ

<https://ameblo.jp/jphotostyling/>



P田●今月のキーワード②で取り上げた「ちょうどいい」、は、この分野でこそ求められているものだと思います。ちょうどよさ、って、公式化しづらいけど、それこそが求められてるのでしょうか。



H瀬●そして、中年層はずーっとトレンドに敏感な層だから、「流行」っていうワードにも敏感だと思う。そこも含めての「ちょうどいい」ってことですよ。

◆5代のおしゃれは、「流行」といかに付き合うのが正解？(大人のおしゃれ手帖11月号)



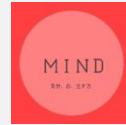
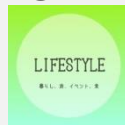
N松●化粧品や健康食品通販などでは、いまだに「こう見えてなんと〇〇歳！」というのが多いですが、ターゲット世代より情報感度が高い世代からすると、「いや、本当に〇〇歳の一般人なわけないでしょ」「真実なんてわかりっこないもんな～」と誤ってしまいますよね。

情報感度が高い世代がこういった商品のターゲットとなった時には、もっとリアリティのあるターゲット像が描かれるようになるでしょうね。



# 2018年10月

## キーワード⑥サボ、家事、暮らし



### 【時短】

- ◆頑張れない日のベースメイク、時短・省エネ大作戦！(BAILA10月号)
- ◆“作り置き”すら不要！ラクして楽しむ「時短」調理術(からだにいいこと11月号)

### 【サボ】

- ◆もういろんな服を着こなさなくていいし、着まわし上手じゃなくていいし、家事も仕事も無理しなくていい 少しサボると、むしろ「オシャレ」でもっと「幸せ」になる！(STORY11月号)
- ◆働く40代の「置きジャケ」には、オシャレにサボる知恵がぎゅっと詰まってる！(STORY11月号)
- ◆それでサボってみてどうだった？ チームSTORY「オシャレにサボって得たこと、よかったこと」(STORY11月号)
- ◆おさよさん | サボりたいけど清潔さはキープしたい！ ふたつをかなえる片づけ&掃除の極意(CHANTO11月号)

### 【ズボラ】

- ◆ズボラごはん23 帰宅後10分で頑張らずにおいしい！(日経WOMAN11月号)
- ◆すぐに作れて大満足！ おいしい！ 簡単！ 「ズボラレシピ」(日経WOMAN11月号)
- ◆ズボラごはんに重宝！ 「日持ちする食材」大集合(日経WOMAN11月号)

### 【罪悪感】

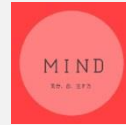
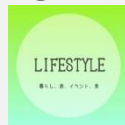
- ◆忙しい日だけは“手づくり風”で罪悪感オフ！ 「レトルト&冷凍食品」のこっそりアレンジ(Mart11月号)

### 【家事】

- ◆もういろんな服を着こなさなくていいし、着まわし上手じゃなくていいし、家事も仕事も無理しなくていい 少しサボると、むしろ「オシャレ」でもっと「幸せ」になる！(STORY11月号)
- ◆阿部絢子さんの“始末のいい暮らし” エコ家事のすすめ(天然生活11月号)
- ◆OURHOME Emiさんに学ぶ 家事がラクになる！暮らしやすい仕組みのつくり方(リンネル11月号)
- ◆イライラしない あと1時間寝れる 家事がラクになる 心と体の疲れが取れる収納(サンキュ！11月号)
- ◆10月から始める“ゆるっと家事”で年末までずーっとラクをする！(サンキュ！11月号)
- ◆「家事をやめる！」とオシャレのやる気が湧いてくる！(STORY11月号)
- ◆“家事のアウトソーシング”最新事情(大人のおしゃれ手帖11月号)
- ◆マキさん・おさよさん・Akiさん・尾崎友吏子さん 話題のあの人に聞いた！ しんどい家事を捨てる技術(CHANTO11月号)
- ◆拝啓、家事に悩むあなたへ(CHANTO11月号)
- ◆マキさん | そもそも家事が大嫌い！ しんどいことをいさぎよくやめる極意(CHANTO11月号)
- ◆Akiさん | 時間がなくても手をぬきたくない！ 短時間集中で家事を捨てる極意(CHANTO11月号)

# 2018年10月

## キーワード⑥サボ、家事、暮らし



- ◆尾崎友吏子さん | ママだけが家事を担うのは間違い！ 地味な作業を家族と道具に頼る極意 (CHANTO11月号)
- ◆〈COLUMN〉この家事アイテムを愛用する理由(CHANTO11月号)
- ◆「家事シェア」をあきらめない！ ための8つの習慣(CHANTO11月号)

### 【暮らし】

- ◆3つのキーカラーで着まわし自在！ DAHLIA★さんのワンシーズン 10着暮らし秋編(ナチュリラ11月号)
- ◆東洋医学の暮らしの知恵(日経Health11月号)
- ◆カミングアウトから4ヵ月。二人の暮らしで得た安らぎ 30年以上閉じていた“心の蓋”を愛する彼女が開いてくれた 勝間和代(婦人公論10/9号)
- ◆幸せ大国デンマークに学ぶ「ヒュッグ」な暮らし方(からだにいいこと11月号)
- ◆オシャレな人は家でも素敵！ 憧れのインテリアと暮らし方(mer11月号)
- ◆実り豊かな小さな暮らし(天然生活11月号)
- ◆山内マリコ わたしは“暮らし”のファンである(天然生活11月号)
- ◆根本きこさん 小さな暮らしの変遷(天然生活11月号)
- ◆山本ふみこさん 暮らしの関わり方(天然生活11月号)
- ◆どいかやさんの、身の丈に合った暮らしを楽しむヒント(天然生活11月号)
- ◆堀川 波さんがチャレンジ 小さなベランダで緑を楽しむ暮らし(天然生活11月号)
- ◆坂井より子さん、畑の台所・鈴木麻衣子さん 土とつながる暮らし(天然生活11月号)
- ◆阿部絢子さんの“始末のいい暮らし” エコ家事のすすめ(天然生活11月号)
- ◆洗練された暮らしの中に佇む、エアリンの香水。(FIGARO japon11月号)
- ◆内田彩仍さんの夏から秋の暮らしがえ(リンネル11月号)
- ◆OURHOME Emiさんに学ぶ 家事がラクになる！ 暮らしやすい仕組みの作り方(リンネル11月号)
- ◆新連載 リンネル暮らし部 Vol.1(リンネル11月号)
- ◆LOVEな雑貨と暮らしたい！ (ELLE japon11月号)
- ◆いつものスーパーで買える こだわりの逸品 続けられる！ 体と環境にやさしい暮らし(サンキュ！11月号)

# 2018年10月キーワード⑥サボ、家事、暮らし

サボは抜け感であり、それによって幸せになれる



H瀬●ここ数年の、キーワードである「時短」「サボ」「ズボラ」「罪悪感」「家事」「暮らし」をずらずらっとを並べて見ました。

時短&さぼ&ズボラが浸透した現在、「頑張れない日」の「罪悪感」を無くすが一番新しい気分のような気がする。

◆忙しい日だけは“手づくり風”で罪悪感オフ！「レトルト&冷凍食品」のこっそりアレンジ(Mart11月号)

◆ズボラごはん23 帰宅後10分で頑張らずにおいしい！(日経WOMAN11月号)

◆頑張れない日のベースメイク、時短・省エネ大作戦！(BAILA10月号)



N松●「頑張らない」っていうので、サンリオの「ぐでたま」が今人気なのも分かる気がします（ぐでたまのWikipediaには「優秀なのにがんばらない現代人」という言葉があり、まさに！）。

そして、「罪悪感」って色んな分野でキーワードになっています。美容系では、太りにくい素材だから食べても罪悪感がない「ギルトフリースイーツ」とか、ありのままの中年体型を「わがままボディ」「ヴィーナス体型」と言ったり。

とはいえ、家事や育児分野で特に注目されているワードかも。手間ひまかける、家族のため、良妻賢母…といった、ある種“犠牲”を良しとする感覚が根強い分野。

「主婦（夫）業と仕事に対する意識調査」の「“主婦休みの日”は必要だと思いますか」という質問に、95%もの人が「必要だと思う・どちらかという必要だと思う」と回答したそう。その理由に注目したいのですが、「仕事には休みがあるが、主婦業には休みがない。祝日として制定してくれたら休みやすい」「休んでいいよと言われても結局色々やって休めないから、休みの日としてあると嬉しい」「主婦の仕事には始まりも終わりのもないので、決まり事として休む日がないと終わらないから」。つまり、休めると言えば休めるけど、実際休めない。どの回答からも、「公式な休日として主婦休みが制定されれば、罪悪感なく休める」という気持ちが読み取れます。

「主婦（夫）業と仕事」に対する意識調査 ～「主婦休みの日」は必要だと思いますか（結婚あした研究所 2018.9.13）

<https://kekkon-ashita.weddingpark.co.jp/810/>



H瀬●女性に偏りがちな家事をどうかしようという流れも、最近は高まっていますよね。男性にやってもらうと罪悪感があった時代から、「家事シェア当たり前でしょ」の時代に移りつつあるのを感じます。

◆尾崎友吏子さん | ママだけが家事を担うのは間違い！ 地味な作業を家族と道具に頼る極意(CHANTO11月号)

◆「家事シェア」をあきらめない！ ための8つの習慣(CHANTO11月号)

サボとかズボラについては、気軽な感じのトレンドワードになってきているのかな？

# 2018年10月キーワード⑥サボ、家事、暮らし

サボは抜け感であり、それによって幸せになれる



N松●サボ・ズボラといったワードが商品名・ブランド名になっているコスメが売れているのも、お手入れをサボることに罪悪感があるところに、サボってもいいんだよ（にんげんだもの…のあいだみつをみたいになっちゃいますが）という商品が存在する、つまり**公式にサボりを許してもらえるとということに安心感を覚える**からだと思うんですよね。赤信号みんなで渡ればこわくない的な、**みんなもサボってるんだよ、そういうものだよ**、と。

- ◆働く40代の「置きジャケ」には、オシャレにサボる知恵がぎゅっと詰まってる！（STORY11月号）
- ◆それでサボってみてどうだった？ チームSTORY「オシャレにサボって得たこと、よかったこと」（STORY11月号）
- ◆おさよさん | サボりたいけど清潔さはキープしたい！ ふたつをかなえる片づけ&掃除の極意(CHANTO11月号)
- ◆すぐに作れて大満足！ おいしい！ 簡単！ 「ズボラレシピ」（日経WOMAN11月号）
- ◆ズボラごはんに重宝！ 「日持ちする食材」大集合(日経WOMAN11月号)



P田●私が気になったのはこれですね。

◆もういろんな服を着こなさなくていいし、着まわし上手じゃなくていいし、家事も仕事も無理なくていい 少しサボると、むしろ「オシャレ」でもっと「幸せ」になる！（STORY11月号）

「サボったり、ズボラだったりすることは、むしろ幸せになる、幸せにするためにいいことなんだよ！」「無理しないおしゃれの方がむしろおしゃれだし、幸せになれるよ！」の気分になっている。

◆イライラしない あと1時間寝れる 家事がラクになる 心と体の疲れが取れる収納(サンキュ！11月号)

これなんかも、心と体の疲れが取れたら幸せになれそう。めんどくささという根底と、幸せになるという結果がついてきてるのが面白いところです。**サボる、ズボラが「こなれ」「心の余裕」「抜け感」と近い感じにポジティブになっている**んですよね。



H瀬●言葉の意味が徐々に変わりますよね。**サボとズボラは手段で、得られるベネフィットが幸せ**ってことなのですね！！そこは気づかなかった。でも、サボとズボラに罪悪感はなく、**サボとズボラするくらいが普通であり、ちょうどいいのだ、という気分に変化しているのかなあ**とは感じましたね。

同じように「家事」「暮らし」の言葉にも別の意味がある気がします。「家事=めんどくさい(マイナス)」「暮らし=素敵(プラス)」という棲み分けになっている。

「暮らし」ってということばの前には「(ていねいな)暮らし」っていう見えない文字がすでに入っているそうです。

## 2018年10月キーワード⑥サボ、家事、暮らし

サボは抜け感であり、それによって幸せになれる



N松●本誌7月号のキーワード⑥「アンチ丁寧な暮らし」で話したように、「暮らし」はやりたい人がやればいい趣味の一つですよね。やらなければならない「家事」、特にちよっと前に盛んに言われた「名もなき家事」とは、まったく違うフィールドなのが「暮らし」というものですね。

過去記事の参考◆2018年8月号 キーワード④丁寧な暮らしからの脱却  
[http://www.beauty-brain.com/trend\\_bunseki/282.html](http://www.beauty-brain.com/trend_bunseki/282.html)

## 今月の漏れネタ

キーワードからは漏れたけど必ずチェックしておきたい  
【新市場】 【新インサイト】 【新ターゲット】 【新語】

<p>◆私たち、バッグの中身は「テンション高め」!(JJ11月号)</p>	<p>テンション高め ≒派手</p>	<p>【新語】 ピンク、キャッチー小物など、派手なことを「テンション高め」と表現</p>
<p>◆ヴィーナス体型のITアイテム(GLOW11月号)</p>	<p>ヴィーナス体型</p>	<p>【新語】 「わがままボディ」に続く中年体型のポジティブ表現、下半身ふくよかな「ヴィーナス体型」</p>
<p>◆"ダサカッコいい"今季の新顔をマーク 初めました！ダッドスニーカー(GINGER11月号) ◆おしゃれのお手本は"DAD"(SPUR11月号) ◆OJIPANTS FOR Gentlewoman. おじさんパンツを穿く。(CLUEL10月号)</p>	<p>ダッド</p>	<p>【新語】 お父さんが履いてそうな野暮ったいデザイン "DAD"(父が着ていたファッションのダサさがおしゃれというトレンド)</p>
<p>◆誰かわからないネットの人気者よりも、STORYが信頼している達人たちだけに訊き込みました 美のプロが絶賛「私のカラダをリアルに変えてくれた」人、モノ、コト！(STORY11月号)</p>	<p>誰かわからないネットの人気者</p>	<p>【新インサイト】 玉石混交のネットに対する雑誌の優位性は、達人・プロの信頼性・ブランド性</p>
<p>◆ブラダ、グッチ、セリーヌetc. 買ったからにはがんばって働きます！ 秋は、このブランドバッグを衝動買い♡(andGIRL10月号) ◆肌だけじゃなく心の奥深くから女っぷり上がります！レディたるもの1つは持っていたい！憧れブランドコスメでいつもより素敵な私♡(美人百花10月号) ◆もはや新作コスメを試すだけなところじゃない！ 40代の美の灯にもう一度火をつけてくれるコスメカウンターがある！(STORY11月号)</p>	<p>ブランド 「頑張って働きます！」 「女っぷり上がる」 「灯火にもう一度火をつけてくれる」</p>	<p>【新インサイト】 プチプラでは得られないメリット。ブランドでなければならない意味</p>



## 2018年10月のトレンド分析カチェック問題

### 解答はこちら！

Q1:コートには2つの市場があります。それは何？

ヒント:「〇〇的に着るコート」と、「〇〇的に着るコート」と二つの市場

A:「長期的に着るコート」と、「短期的に着るコート」と二つの市場

Q2:「映え疲れ」のいま、どんな言葉にぐっとくる？

ヒント:「映える」「いいね」より「〇〇〇〇いい」が今の気分

A:「映える」「いいね」より「ちょうどいい」が今の気分

Q3:最近の女子のキャラはどうなっている？

ヒント:〇〇〇や〇〇〇〇〇で、同じ女の子がいくつものキャラが持てる。

A:メイクやファッションで、同じ女の子がいくつものキャラが持てる。

Q4:これから増えそうな「美人」はどんな美人？

ヒント:〇〇無しのちょっと欠点が見える〇〇〇美人

A:修正無し of ちょっと欠点が見えるリアル美人

Q5:今の45歳や50歳がなりたいのは「美魔女」ではありません。では、どうなりたいのでしょうか？

ヒント

若いよりも、〇〇〇な人と言われたい

おばちゃんよりも、〇〇と言われたい

若いよりも、きれいな人と言われたい

おばちゃんよりも、大人と言われたい

Q6:サボったり、ズボラだったりすることの「便利」の以外ベネフィットとは？

ヒント:便利なだけではなく〇〇になる

A:便利なだけではなく幸せになる